



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社メディパルホールディングス

コード番号 7459 URL <http://www.medipal.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 秀一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 山崎 邦衛 TEL (03)-3517-5171

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,214,612	3.4	25,937	5.1	38,376	15.5	20,671	27.8
25年3月期第3四半期	2,141,957	2.5	24,672	83.4	33,240	55.6	16,170	152.2

（注）包括利益 26年3月期第3四半期 26,428百万円（65.0%） 25年3月期第3四半期 16,019百万円（66.9%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	91.48	-
25年3月期第3四半期	71.14	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,405,539	403,296	24.4
25年3月期	1,328,601	381,892	24.3

（参考）自己資本 26年3月期第3四半期 342,252百万円 25年3月期 323,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	9.00	-	11.00	20.00
26年3月期	-	11.00	-	-	-
26年3月期（予想）	-	-	-	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,909,000	3.5	33,000	15.7	47,000	18.6	24,000	28.6	106.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	244,524,496株	25年3月期	244,524,496株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	18,423,638株	25年3月期	19,005,229株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	225,972,464株	25年3月期3Q	227,285,038株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れ懸念がある一方で、政府による経済政策などの効果により、緩やかに景気が回復してきております。

このような経済状況の中、当社グループは、平成26年3月期を着地点とした「2014メディopal中期ビジョン」を掲げ、医療機関や小売業などの顧客やその先の消費者に顕在・潜在するさまざまなニーズにお応えできる安全、安心、低コストの流通を構築するべく、各事業活動において物流機能の高度化と営業機能の質向上に努めております。

この取組みの一環として、当社グループは製薬企業などとの連携のもと、国内において早期に開発が期待される医療用医薬品（希少疾病用医薬品など）に資金投資を行い、その製品が製造販売承認を受けた際にはリターンを得るとともに、医療機関に対する販売を優先的に行うなどの新たなビジネスモデル「プロジェクト・ファイナンス&マーケティング（PFM[®]）」に取り組んでおります。現在、複数のプロジェクトに着手しており、製造販売承認を受けた医薬品については順次販売を開始しております。

また、当社グループは発売後の医療用医薬品を対象とした製品の品質、有効性、安全性を確認する製造販売後調査を製薬企業から請け負う新たなビジネスの準備を開始いたしました。この一環として、平成25年11月、医薬品の臨床試験や製造販売後調査などのデータ収集支援を行うメディスケット株式会社（東京都千代田区）を当社の完全子会社といたしました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は2兆2,146億12百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は259億37百万円（前年同期比5.1%増）となりました。経常利益は383億76百万円（前年同期比15.5%増）、四半期純利益は206億71百万円（前年同期比27.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等の販売は、政府による医療費抑制の動きがある中で、需要が拡大している新薬創出加算品をはじめとした新製品やジェネリック医薬品への積極的な取組みを行ったこと、また、医療機器や臨床検査試薬において顧客ニーズを的確にとらえた提案営業を行ったことなどにより、順調に推移いたしました。併せて、前連結会計年度に引き続き、医療用医薬品や医療機器などの品目ごとの仕入価格交渉とそれに基づいた顧客との販売価格交渉を推し進めました。

物流面においては、高品質・高機能かつ災害対策を施した新しい物流体制の全国への拡大を進めており、当社の完全子会社である株式会社メディセオ（東京都中央区）では、現在、核となる最新鋭の物流センター「ALC（エリア・ロジスティクス・センター）」が6か所で稼働しております。また、この新しい物流体制の充実を図る一環として、東京都心エリアに医薬品供給を行う超・都市型物流センター「東京中央FLC（フロント・ロジスティクス・センター）」（東京都千代田区）が平成25年9月に稼働いたしました。

営業面においては、MR認定試験に合格した社員が、高い専門知識とスキルを持つAR（アシスト・リプレゼンタティブ）として活動する新たな営業に取り組んでおります。なお、本事業におけるMR認定試験の合格者総数は平成26年1月末現在で1,200人規模となりました。

これらの結果、医療用医薬品等卸売事業における売上高は1兆5,775億59百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は142億48百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

化粧品・日用品、一般用医薬品の販売は、激しい企業間競争や消費者の節約志向に加え、円安による原材料高などが不安要素となるなど、厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社の連結子会社である株式会社Paltac（大阪府中央区）では「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに掲げ、事業を行っております。人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで取り扱う中間流通業として、小売業の売場起点の発想に基づく高品質・ローコストの物流機能と効果的な品揃えや販売活動を支援する営業機能の強化を図り、サプライチェーン全体の最適化・効率化に貢献するための取組みを行っております。

この取組みの一環として、最新鋭の大型物流センターである「RDC宮城」（宮城県白石市）が平成25年9月に、「RDC北陸」（石川県能美市）が同年11月にそれぞれ稼働いたしました。

これらの結果、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における売上高は6,066億4百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は107億91百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

関連事業

関連事業では、当社の完全子会社であるMPアグロ株式会社（北海道北広島市）が動物用医薬品ならびに食品添加物等の販売を行っております。

動物用医薬品の販売は、コンパニオンアニマル*向け市場において伸びがあったものの、畜産向け市場の低迷などにより、厳しい状況で推移いたしました。

食品添加物等の販売は、関東エリアにおける営業活動の強化が着実に成果となって表れ始めたことなどにより、堅調に推移いたしました。

これらの結果、関連事業における売上高は325億15百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は3億51百万円（前年同期比16.1%減）となりました。

※ コンパニオンアニマルは伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人とより密接な関係を保つような動物を指しております。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1兆4,055億39百万円となり、前連結会計年度末より769億38百万円増加いたしました。

流動資産は1兆832億96百万円となり、前連結会計年度末より562億24百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加786億42百万円、商品及び製品の増加373億12百万円、現金及び預金の減少665億67百万円によるものであります。

固定資産は3,222億42百万円となり、前連結会計年度末より207億13百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産の増加133億98百万円によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は1兆22億43百万円となり、前連結会計年度末より555億33百万円増加いたしました。

流動負債は9,505億24百万円となり、前連結会計年度末より552億52百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加705億66百万円、未払法人税等の減少188億24百万円によるものであります。

固定負債は517億19百万円となり、前連結会計年度末より2億81百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金の増加5億79百万円によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,032億96百万円となり、前連結会計年度末より214億4百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加161億3百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表した平成26年3月期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	164,275	97,708
受取手形及び売掛金	625,818	704,460
有価証券	18,846	18,754
商品及び製品	144,872	182,184
その他	74,478	81,230
貸倒引当金	△1,218	△1,041
流動資産合計	1,027,072	1,083,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	80,203	83,122
土地	94,216	97,934
その他（純額）	21,629	21,484
有形固定資産合計	196,049	202,540
無形固定資産		
その他	7,880	8,704
無形固定資産合計	7,880	8,704
投資その他の資産		
その他	99,331	112,766
貸倒引当金	△1,733	△1,769
投資その他の資産合計	97,598	110,997
固定資産合計	301,528	322,242
資産合計	1,328,601	1,405,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	811,933	882,500
短期借入金	21,100	26,000
1年内返済予定の長期借入金	3,902	5,604
未払法人税等	20,953	2,129
賞与引当金	8,302	4,156
返品調整引当金	771	867
その他	28,308	29,267
流動負債合計	895,271	950,524
固定負債		
長期借入金	10,728	9,869
退職給付引当金	16,157	16,736
債務保証損失引当金	—	150
その他	24,552	24,963
固定負債合計	51,437	51,719
負債合計	946,709	1,002,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,398	22,398
資本剰余金	134,194	134,291
利益剰余金	180,877	196,980
自己株式	△22,572	△21,883
株主資本合計	314,898	331,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,519	27,416
繰延ヘッジ損益	1	4
土地再評価差額金	△17,206	△17,206
為替換算調整勘定	—	250
その他の包括利益累計額合計	8,314	10,465
少数株主持分	58,678	61,043
純資産合計	381,892	403,296
負債純資産合計	1,328,601	1,405,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,141,957	2,214,612
売上原価	1,987,005	2,058,678
売上総利益	154,951	155,933
返品調整引当金戻入額	726	771
返品調整引当金繰入額	839	867
差引売上総利益	154,839	155,838
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	59,024	59,051
福利厚生費	8,128	8,345
賞与引当金繰入額	4,166	4,115
退職給付費用	5,053	5,342
配送費	10,823	10,480
地代家賃	3,720	3,327
減価償却費	8,138	8,531
貸倒引当金繰入額	—	2
その他	31,112	30,704
販売費及び一般管理費合計	130,167	129,900
営業利益	24,672	25,937
営業外収益		
受取利息	71	94
受取配当金	1,958	1,763
情報提供料収入	5,179	5,435
不動産賃貸料	735	783
持分法による投資利益	802	4,256
その他	888	1,115
営業外収益合計	9,635	13,449
営業外費用		
支払利息	400	321
不動産賃貸費用	408	414
その他	257	274
営業外費用合計	1,066	1,010
経常利益	33,240	38,376

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	284	5
投資有価証券売却益	6,012	18
持分変動利益	—	195
その他	—	25
特別利益合計	6,297	244
特別損失		
固定資産除売却損	456	189
減損損失	739	623
持分変動損失	4,069	—
特別退職金	34	—
選択定年制度拡充費用	—	369
その他	372	168
特別損失合計	5,671	1,350
税金等調整前四半期純利益	33,865	37,271
法人税、住民税及び事業税	27,113	11,390
法人税等調整額	△12,483	1,610
法人税等合計	14,630	13,001
少数株主損益調整前四半期純利益	19,235	24,270
少数株主利益	3,065	3,598
四半期純利益	16,170	20,671

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,235	24,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,216	2,051
繰延ヘッジ損益	2	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	101
その他の包括利益合計	△3,216	2,158
四半期包括利益	16,019	26,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,886	22,700
少数株主に係る四半期包括利益	3,133	3,727

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	関連事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,524,274	585,248	32,434	2,141,957	—	2,141,957
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,297	726	6	2,030	△2,030	—
計	1,525,571	585,975	32,441	2,143,988	△2,030	2,141,957
セグメント利益	13,254	10,514	418	24,186	485	24,672

(注) 1. セグメント利益の調整額485百万円には、セグメント間取引消去1,931百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,446百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	関連事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,575,983	606,118	32,509	2,214,612	—	2,214,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,575	485	6	2,067	△2,067	—
計	1,577,559	606,604	32,515	2,216,680	△2,067	2,214,612
セグメント利益	14,248	10,791	351	25,390	547	25,937

(注) 1. セグメント利益の調整額547百万円には、セグメント間取引消去1,995百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,448百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。